

令和2年度  
事業報告書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日



学校法人 花田学園  
東京有明医療大学  
日本鍼灸理療専門学校

# 日本柔道整復専門学校

## 目 次

I. 法人の概要	
1. 基本方針	1
2. 法人の沿革	1
3. 設置する学校等	2
4. 役員に関する事	2
5. 評議員に関する事	2
6. 教職員に関する事	2
II. 事業の概要	
1. 東京有明医療大学	3
2. 日本鍼灸理療専門学校、日本柔道整復専門学校	9
3. 法人本部	13
III. 入学試験に関する事	14
IV. 国家試験に関する事	15
V. 財務の概要	16
VI. その他	
1. 初年度学納金の推移	19
2. 表彰、奨学金・給付金等	20
3. 会議等実施報告	21

## I. 法人の概要

### 1. 基本方針

教育基本法、学校教育法並びに文部科学省、厚生労働省の定める基準に準拠しつつ、創立者花田傳先生の崇高な建学の精神を継承し、医療の一翼を担うに足る人材の育成を教育目標とする。

昭和 31 年創立の日本鍼灸理療専門学校並びに日本柔道整復専門学校における、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師の養成と共に、平成 21 年度より東京有明医療大学における大学教育並びに平成 25 年度からの大学院教育・研究を通じ、鍼灸並びに柔道整復の教育・研究と、看護教育・研究との融合を推進する。東洋医学・伝統医学・西洋医学の分野において、高度化する医療の担い手として確かな知識と医療技術さらに人格識見に優れた、より幅の広い医療人の育成を通じ、社会に貢献することを基本方針とする。

### 2. 法人の沿革

昭和 31 年	4 月	日本中央鍼灸専門学校設立・東京高等柔道整復学校設立
昭和 38 年	9 月	学校法人花田学園法人認可
昭和 39 年	4 月	日本鍼灸理療学校・日本柔道整復学校に校名変更
昭和 47 年	10 月	専科（鍼灸科）新設
昭和 54 年	7 月	専修学校医療専門課程認可 日本鍼灸理療専門学校・日本柔道整復専門学校に校名変更
平成 2 年	4 月	法改正に伴い、修業年限 2 年から 3 年に変更
平成 15 年	8 月	専攻科（アスレティックトレーナー）新設 *日本鍼灸理療専門学校・日本柔道整復専門学校
平成 20 年	10 月	東京有明医療大学 保健医療学部鍼灸学科・柔道整復学科並びに看護学部看護学科認可
平成 21 年	4 月	東京有明医療大学 保健医療学部鍼灸学科・柔道整復学科並びに看護学部看護学科開学
平成 24 年	11 月	東京有明医療大学大学院 保健医療学研究科並びに看護学研究科認可
平成 25 年	4 月	東京有明医療大学大学院 保健医療学研究科並びに看護学研究科開設
平成 26 年	10 月	東京有明医療大学大学院 保健医療学研究科博士後期課程認可
平成 27 年	4 月	東京有明医療大学大学院 保健医療学研究科博士後期課程開設

### 3. 設置する学校等

大学等	学部・研究科等	学科	入学定員	収容定員	在籍者数(※)
東京有明医療大学	保健医療学部	鍼灸学科	60名	240名	185名
		柔道整復学科	60名	240名	211名
	看護学部	看護学科	50名	200名	245名
	保健医療学研究科(前期課程)	5名	10名	15名	
	保健医療学研究科(後期課程)	2名	6名		
		看護学研究科	5名	10名	2名
日本鍼灸理療専門学校	本科(あん摩マッサージ指圧・鍼灸科)		120名	360名	442名
	専科(鍼灸科)		60名	180名	
日本柔道整復専門学校	柔道整復科		120名	360名	93名

※在籍人数は、令和2年5月1日現在の学校基本調査の数値で表記

### 4. 役員に関すること (令和3年4月1日現在)

理事(定数9名)	監事(定数2名)
9名 (常勤4名・非常勤5名)	2名 (非常勤2名)

### 5. 評議員に関すること (令和3年4月1日現在)

評議員(定数20名)
20名 (常勤12名・非常勤8名)

### 6. 教職員に関すること

本務教職員数 133名 兼務教職員数 166名 合計 299名

令和2年5月1日現在

区分		法人本部	東京有明医療大学	日本鍼灸理療専門学校	日本柔道整復専門学校	計
教員	本務	-	63名	18名	10名	91名
	兼務	-	83名	71名		154名
職員	本務	3名	31名	5名	3名	42名
	兼務	-	8名	4名		12名

平均年齢は、本務教員 (大学) 53歳 (専門2校) 43歳  
 本務職員 (大学) 50歳 (専門2校) 37歳

※兼務とは、非常勤講師並びにアルバイト・パート雇用者をいう

## II. 事業の概要

### 1. 東京有明医療大学

#### (1) 経過報告

##### (新型コロナウイルス感染症対応)

新型コロナウイルス感染症拡大及び緊急事態宣言の発出を踏まえ、入学式等の行事や対面での授業開始を見送り、授業実施方法等の検討を行った。その結果、学生の学修機会確保と感染対策徹底の両立を図るため、教員へ教育方法研修会を開催したうえ、4月下旬よりリモートによる遠隔授業で前学期授業を開始した。(後学期は実習・演習科目は対面授業、講義科目は遠隔ならびに対面授業のハイブリッド形式で実施)

オンライン授業という新しい手法での教育は、当初、教員・学生の双方で戸惑いがあったが、有効な手段であることが確認できた。一方で、大学の教育において、豊かな人間性を涵養するためには、学生同士や学生と教職員の間的人的交流が行われることも重要な要素であるものの、課外活動や卒業旅行の自粛などの感染拡大防止を徹底した。その他学生募集活動においても、オープンキャンパスをオンラインで実施するなど、新型コロナウイルス感染症防止対策に対応して、新しい形態で実施した。また、感染者が出た場合の対応等については、危機管理委員会を開催し、対応フローチャートを作成するなど、万一来て対応を検討、また、保健管理センターを中心に感染予防策として、サーマルカメラや手指消毒液の設置をはじめ、カフェテリアにパーテーションパネルを設置し、学外者の施設利用中止や外部への施設貸出の停止などの感染防止に注力した。その結果、学内におけるクラスター発生を防止することができた。

##### (入学者の推移)

令和2年度に実施した入学者選抜は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、医療関連従事者の職場環境の状況なども影響し、学生募集上逆風を受けた年となった。

受験教育機関の分析では、保健関連分野志願者は例年の8割と言われ、本学の志願者数も例外ではなかった。今後も安定して入学定員を満たす学生確保に向け、全学的に取り組むとともに、他大学の動向を踏まえ、入学者の質の向上を図り、更なる競争力を高める必要がある。

(過去5年の志願者・入学者の推移(平成29年度～令和3年度)) (単位:人)

	定員	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
鍼灸学科	60	47	41	56	44	67	58	67	60	52	42
柔道整復学科	60	59	47	68	51	67	58	105	71	66	58
看護学科	50	256	60	252	60	251	60	291	60	236	61

### (国家試験の推移)

令和2年度の前半期については、新型コロナウイルス感染症の影響で対面による国家試験対策講義や受験指導が実施困難となり、学内施設の利用も制限を設けたため、自宅学修や遠隔による受験指導中心となった。また後半期は、新型コロナウイルス感染症に罹患若しくは感染が疑われる場合には、国家試験の受験が認められず、追試験も実施されないことから、学生の健康に十分配慮をした受験指導が行われた。この流れは令和3年度も同様となることが予想されるため、新型コロナウイルス感染症における国家試験対策の工夫・強化を図る必要がある。(結果については、P15「IV国家試験に関すること」参照)

### (就職・進学関係の推移)

令和2年度の新型コロナウイルス感染症の影響により説明会や訪問、インターンシップが行われず、オンラインに切り替わるなど、学生の就職活動にも大きな変化が生じたものの、比較的好調な就職状況であった。

保健医療学部では、鍼灸院、接骨院、整形外科クリニックなどに就職しているが、卒業時点が国家試験の合格発表前であるため、約3割の学生が結果確認後、就職活動を行っている。看護学部では、臨床実習病院である東大附属病院、昭和大学附属病院、がん研有明病院をはじめとし、東京慈恵会医科大学附属病院、順天堂大学附属病院、杏林大学附属病院等の私立大学附属病院、国立、公立、共済組合系の大規模病院を中心に就職した。また本学卒業生の大学院への進学者は、保健医療学研究科博士前期課程4名、博士後期課程4名の合計8名となり、研究志向の卒業生も輩出している。

## (2) 主な事業の実施状況

### (大学院の運営)

本年度で8年目となる大学院博士前期課程(保健医療学研究科)の入学定員を5名から7名に、修士課程(看護学研究科)の定員を5名から3名とする収容定員に係る学則変更の届出を6月に行った。今後も充実を図り、更なる発展を期すための研究設備をはじめとする教育環境整備に注力し、開設6年目の博士後期課程(保健医療学研究科)においては、将来を見据えた博士号取得後の若手研究者育成のため、大学院の発展に向け更なる充実を図り、研究環境を整備していく。また、令和3年度の大学院博士前期課程(保健医療学研究科)には、大学間交流協定大学のモンゴル国立医療科学大学より同校卒業生2名を留学生として迎え入れ、合計7名が入学した。大学院博士後期課程(保健医療学研究科)は入学定員2名に対し、4名(鍼灸学分野3名・柔整学分野1名)が入学した。

### (教育・研究関連事項)

設備の充実並びに校舎の教育環境整備計画として、大学においては開学後11年、大学院においては開設後7年を経過したことから、設備・機器の整備については、おおよそ一巡したと思われるが、更なる充実を図るべく、より効果的且つ計画的な機器の整備を推進

していくと同時に、老朽化等による不具合の機器については、迅速な対応を図る。

また、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う遠隔授業や学外実習に代わる学内実習に対応できる環境を整備した。附属図書館では、年報を毎年作成しており、今年度は、書架1台の増設を行ったほか、電子書籍5,500冊が無料購読できるトライアルを今後の導入に向けて4ヶ月間利用した。また、オンライン授業における授業教材配信の問題となる著作権に対応し、教育分野の著作権等の利用の円滑化を図るため、授業目的公衆送信補償金制度の管理組織である一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会（SARTRAS）に登録を行った。主な機器類の購入内容は以下のとおりである。

研究関係		施設設備関係	
重心軌跡測定器 T.K.K. 5810	46 万円	スチームコンベクションオープン	98 万円
Frame-DIAS6 2次元動作解析システム	99 万円	図書館スチール書架	112 万円
きんちゅうくんⅡ ×5本	72 万円	学内基幹ネットワーク機器更新	509 万円
新型樹脂パーツ 量産金型2個取り	94 万円	遠隔授業対応用 AV 機器増設工事一式(※)	1,485 万円
新型樹脂 CA 上下セット	80 万円		※補助金対象
SCENARIO スキルズアルバムオーガニゼーション	335 万円		

### (研究の充実・成果発表)

研究活動の一層の充実を図り、各学会での研究成果発表や海外を含む大学等との共同研究を積極的に推進する。主な実施状況は以下のとおりである。

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響下においても各学会等、活発にオンラインで研究発表等を行った
- ② 12月「東京有明医療大学雑誌」第12号の発刊
- ③ 科学研究費獲得セミナーを9月に開催した

外部資金獲得実績	<b>文部科学省・日本学術振興会の科学研究費助成事業</b> ア. 研究代表者 (令和2年度交付額 764 万円) <ul style="list-style-type: none"> <li>・鍼灸学科 4 件(内 3 件継続)</li> <li>・柔道整復学科 2 件(内 1 件継続)</li> <li>・看護学科 4 件 (内 3 件継続)</li> </ul> イ. 研究分担者 (令和2年度交付額 223 万円) <ul style="list-style-type: none"> <li>・柔道整復学科 1 件</li> <li>・看護学科 7 件</li> </ul>
	<b>厚生労働省の科学研究費助成事業</b> 研究分担者(令和2年度交付額 10 万円) <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護学科 1 件</li> </ul>
	<b>国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護学科 1 件(令和2年度契約額 193 万円)</li> </ul>
特別研究費の公募(学内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別研究費 10 件の応募 10 件採択 (500 万円)</li> <li>・教育改革推進費 未募集</li> </ul>

### (卒業教育の充実)

附属の臨床施設（東京有明医療大学附属鍼灸センター）において、平成24年4月の1期生から9期生まで計68名を受入れ研修を重ねてきたが、令和3年度の10期生として新たに11名を受入れ、研修延長希望者14名と併せて25名が研修を行うこととなる。

### (補助金の交付状況)

經常費補助金（一般補助・特別補助）の補助対象拡大に向け取り組み、平成25年度から「私立大学等經常費補助金」を申請し、継続して交付を受けている。今年度の特別補助は、前年同様大学院における研究の充実のみの申請に止まった。しかし、新型コロナウイルス感染症対応策として、政府の施設・整備補助事業である「大学等における遠隔授業の環境構築の加速による学習機会の確保」への申請を行い、8,314千円の交付決定（下表の枠外）を受けた。

また、近年の収容定員数に対する入学者数の比率が上昇していることから、増減率の向上に繋がり、補助金が増額となった。今後も補助事業の幅を広めながら、対象拡大に向け取り組んでいく。

（単位：千円）

	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
一般補助	72,559	80,866	75,683	79,208	81,793
特別補助	3,124	1,906	5,158	4,729	3,681
計	75,683	82,772	80,841	83,937	85,474

### (研究活動における倫理教育等の促進)

公的研究費の管理体制及び研究倫理への取り組みに対し、文部科学省のガイドラインに沿った推進を実施した。公的研究費の不正使用防止や管理体制への取り組みについて、文部科学省のガイドラインを基に不正防止計画及び公的研究費執行ガイドブックを作成し、また令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策として、外部の研究支援専門機関を通じ、研究活動におけるコンプライアンス及び不正行為、利益相反等研究倫理全般にわたる本学仕様のオンライン研修会DVDを作成、各研究者にオンデマンドにて配信し、受講できる様、整備を行った。

この他、SD研修を4回実施した。（①遠隔授業の実施に当たって②新入試制度研修③働き方改革④なぜ今『教学マネジメント』に取り組むのか）

### (国際交流事業)

海外の国際交流大学間協定校を中心として国際交流を深める。実施状況は以下のとおりである。

[看護学部]

シンガポール国立大学看護学部との交流について、今年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延拡大の影響を受け、7月実施予定であった看護学部生の来校と、3月渡航予定の本学学生のシンガポール訪問が中止となった。

### [保健医療学部]

モンゴル国立医療科学大学との交流については、今年度は、看護学部同様に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、実施予定だった教員派遣事業が中止となったが、オンデマンド方式で遠隔授業を実施した。また、同校伝統医療セラピスト学科(現伝統手技療法学科)の卒業要件として本学での臨床実習、柔道、卒業共同研究等履修のための短期研修生の受入れも中止となった。

### (大学機関別認証評価)

次回の認証評価に向けて、大学評価委員会が中心となり、大学全体のP D C Aサイクルを全学で取り組むなど自己点検を定期的実施する。自己評価(中長期計画の策定に基づくP D C Aサイクルの確認)の実施については、2019年度の実施状況及び2020年度以降の計画について点検・評価を行い、大学評価委員会及び大学協議会を開催し、確認・審議した上で、理事会にて報告を行った。

### (AT コースの充実)

大学では、平成24年度以降、計49名の合格者を出している。また、健康運動実践指導者資格の令和2年度の合格者は10名で、合格率は100%であった。

#### ◆日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー検定試験年度別合格者数

	平成 25年度以前	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	合計
大学	7名	7名	5名	6名	9名	5名	2名	8名	49名

### (広報活動)

費用対効果を考慮し、令和元年度に引き続き効率的な広報活動を行っていくこととしていたが、今年度は新型コロナの影響により、計画していた対面型のオープンキャンパスが開催出来ず、オンラインによるオープンキャンパスを開催した。

- ① 進学情報サイトの効果的な利用
  - ・志願者に対し認知度や関心度を向上させるため、効果ある情報サイトを厳選。
  - ・進学サイトに掲載、全国の受験生から資料請求やオープンキャンパスの申込みを受ける。
  - ・3学科に関連する医療・福祉・スポーツ等の検索導線を広げ流入を図った結果、オープンキャンパスは例年同等参加者数を確保出来た。
- ② オープンキャンパスへの更なる積極的な取り組み
  - ・ホームページにオープンキャンパス特設ページを作成し、誘導。
  - ・新型コロナの影響より、対面型からオンラインによるオープンキャンパスに変更し開催。
  - ・ZOOMで個別面談を行ったことにより、遠方の希望者も参加でき、一都三県以外の受験生増に寄与、ZOOMやMEETを使い受験生のニーズに合わせ対応したオンライン面談も実施。
- ③ HP(スマートフォン)対策の充実やSNS(Instagram等)を活用した学生募集取り組み
- ④ 大学案内(パンフレット)の充実及び小冊子の「TAU TIMES」作成

【全学部対象(オンラインオープンキャンパス)】

	参加者計	鍼灸	柔整	看護
令和 2年 6月 21日(日)	169名	28名	36名	105名
令和 2年 7月 19日(日)	145名	29名	32名	84名
令和 2年 8月 9日(日)	181名	24名	40名	117名
令和 2年 8月 23日(日)	145名	24名	24名	97名
令和 2年 9月 20日(日)	79名	8名	20名	51名
令和 2年 10月 18日(日)	75名	12名	8名	55名
合計	794名	125名	160名	509名

\*別途、個別で随時受付けて実施したキャンパス見学会には、累計で 200 名が参加。  
(鍼灸 29名 柔整 47名 看護 124名 )

(3) その他の報告

(校務報告)

令和 2年	4月	入学式(中止)
		情報センターSD「遠隔授業の実施に当たって」
		前学期授業開始(遠隔授業)
	5月	柔道整復科SD「新入試制度の研修」
	6月	新入生オリエンテーション(全学科)
		新入生健康診断
	8月	前学期学力評価期間
		基礎看護実習・療育別看護実習オリエンテーション
		基礎看護実習開始(看護学科3年生)
	9月	領域別看護実習開始(看護学科3年生)
		後学期授業開始(遠隔・対面)
		科研費獲得セミナー
10月	大学院保健医療学研究科・学位論文中間発表	
11月	看護師・保健師国家試験ガイダンス	
	はり師きゅう師国家試験ガイダンス	
	事務局SD「働き方改革」	
12月	学務部SD「教学マネジメント」	
令和 3年	1月	後学期学力評価期間
	2月	大学院保健医療学研究科・修士論文発表会
		保健師国家試験・看護師国家試験
		はり師きゅう師国家試験
	3月	消防訓練(動画視聴)
		柔道整復師国家試験
		卒業式・学位授与式
		学年末再試験期間(1~3年生)
鍼灸センター研修生修了式		
在校生オリエンテーション・健康診断		
鍼灸センター研修生入所式・オリエンテーション		

※他、就職説明会、柔道教室、T A U健康体操教室など

## 2. 日本鍼灸理療専門学校、日本柔道整復専門学校

### (1) 経過報告

#### (新型コロナウイルス感染症対応)

令和2年初旬、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言発令により、新学期開始の4月から5月末までを休校としたが、その後6月からは原則、対面授業を行ってきた。

外部実習は、感染防止のため実施できない施設もあったが、概ね修了することができた。学内の対応としては、日々の校舎内の消毒、教室の変更等を実施したことにより、クラスターが発生することなく令和2年度を終えた。

#### (入学者の推移)

両専門学校ともに、受験者数の減少傾向が続いており、平成18年度以後、柔道整復科並びに専科の夜間部に続き、本科夜間部、専科昼間部並びに柔道整復科昼間部においても定員割れが生じている。令和2年度の入学生も本科昼間部を除き、大幅な定員未達となった。

本年（令和3年度生募集）の志願者数は、鍼灸校182名、柔道整復校27名で専門学校全体の受験者数としては、前年比70.6%と全般的に大幅に減少しており、学校全体としての学生募集対策が急務である。

過去5年の志願者・入学者の推移（平成29年度～令和3年度）（単位：人）

		定員	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
			志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
			本科	第1部	60	132	62	111	61	83	61	115
	第2部	60	78	60	78	52	54	30	73	44	62	40
専科	第1部	30	39	25	40	29	43	30	48	31	22	16
	第2部	30	28	15	16	12	31	24	27	16	17	14
柔道整復科	第1部	60	49	45	28	25	26	24	44	39	24	21
	第2部	60	22	19	5	4	6	4	10	6	3	2

#### (国家試験の推移)

国家試験については、卒業学年単位での補講の他、既卒者国家試験担当による補講等の指導を実施している。合格率（既卒者含む）は、鍼灸校の、あん摩マッサージ指圧師は、全国平均を上回ったものの、はり師並びにきゅう師が全国平均を下回った。また柔道整復校は、全国平均とほぼ同等で、新卒者に至っては全国平均を上回る結果となった。

本年は、新型コロナウイルス感染症による影響も少なからず考えられるが、改善の余地があると考え、更に努力を重ね合格率のアップを目指したい。（結果については、P16「IV国家試験に関すること」参照）

## (2) 主な事業の実施状況

### (教育・研究関連事項)

校舎ならびに設備の充実、図書整備等、教育環境整備については以下のとおり実施した。また、研究活動については新型コロナウイルス感染症拡大により、各学会が開催されなかったこと等より、縮小した活動となり、研究費用については例年の半分程度の102万円の実績となった。また、図書室の利用状況等は、「図書室利用状況及び図書受入・廃棄等に関する報告」を毎年作成し、学内での周知を図っている。

Wi-Fi（無線LAN用）機器一式	505万円	印刷機オルフィス	311万円
東洋医学研究班用PC（3台）	81万円	今期図書購入額	57万円
		※内、寄贈図書分	1.2万円

### (卒業教育の充実)

日本鍼灸理療専門学校附属鍼灸院において、鍼灸外来での臨床技術の修得を目的とした臨床研修を実施、臨床実習生を受け入れている。令和2年度は1名を受入れ、次年度令和3年度研修生は4名からの申込と増加する。また、例年行っている（一財）東洋医学研究所の主催による日本鍼灸理療専門学校卒業生を対象とした「臨床技術研修講座」は新型コロナウイルス感染症拡大により未実施となった。

### (アスレティックトレーナー専攻科(付帯教育)の充実)

平成15年の専攻科開設以来より18年が経過し、427名が修了し、累計207名の合格者という結果となっている。

◆日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー検定試験年度別合格者数

平成25年度以前	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計
93名	18名	15名	17名	17名	13名	17名	17名	207名

### (学費支援制度の充実)

日本学生支援機構の奨学金ならびに厚生労働省の教育訓練給付金制度に加え、令和2年4月より、高等教育の修学支援新制度（授業料減免と給付型奨学金）が開始された。本校における対象者ならびに実績は以下のとおり。

また、学内における成績優秀者に対する学内特待制度も例年通りに実施した。各利用状況等についてはP20「VI. その他 2.表彰等」に記載。

#### 【奨学金】

令和2年度日本学生支援機構の奨学金は第一種、第二種並びに給付型奨学金として85名の採用となった。

### 【 専門実践訓練給付金 】

一定の条件を満たす雇用保険の被保険者(在職者)、または被保険者であった方(離職者)が、厚生労働大臣の指定する専門実践教育訓練を受講する場合、支払った経費の一定割合額をハローワークから支給される制度(期間は最大3年間)で、本年度対象者は鍼灸校で107名であった。(柔整校は対象外)

### 【 高等教育の修学支援新制度 】

令和2年4月より、文部科学省において、進路への意識や進学意欲がある者に対し、家庭の経済状況に関わらず、大学、短大、専門学校等へ進学するチャンスを確保できるよう実施され、対象者は25名、授業料減免額11,283,900円であった。

### 【 学内特待制度 】

学内選考委員会にて決定され、令和3年3月に3年生、令和3年4月に1.2年生の学業優秀者の発表があり、授業料の一部免除を行い総額6,300,000円(第1部・2部合算)となった。

### 【自己点検ならびに学校関係者評価】

学校法人花田学園専門学校 学校評価実施規程に基づき、7月末までに各校において、自己評価を行いホームページへ掲載した。その自己評価結果をもとに学校関係者評価委員より令和3年1月に評価結果報告を受け、3月の理事会にて報告した。

私立専修学校教育環境整備費助成事業(専修学校評価促進)として、今年度初めて東京都生活文化局に申請し、各校20万円の計40万円の補助を受けた。

### 【学校説明会並びに校外ガイダンス等広報活動】

費用対効果を考慮し、効率的な広報活動を行ない、大学と連携も図り広報を充実させる。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、例年対面で実施していた学校説明会や個別相談並びに、校外ガイダンスは縮小して実施した。

- ① 進学情報サイトへの掲載
- ② 学校説明会ならび学校見学会、来校できない方のためのリモート相談等
- ③ 学校案内ならびにホームページのリニューアル
- ④ SNSを利用した、学校近況報告

#### ●会場ガイダンス等

高校ガイダンス … 27校、資料頒布会 … 218校

会場ガイダンス、出前授業、学校見学受入れ … 開催等なし

#### ●学校説明会 参加者数

	参加者計	鍼灸	柔整	両校
令和2年7月19日(日)	39名	33名	4名	2名
令和2年8月30日(日)	44名	34名	7名	3名
合計	83名	167名	111名	5名

●学校見学・入試相談会等 参加者数

月曜日から土曜日の午前 10 時から午後 4 時の間、参加者の希望する時間で実施し、計 219 名の参加者があった。(前年 198 名、前々年 189 名)

また今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、来校型の他にリモートや電話対応での個別相談も実施、施設見学については動画をホームページに掲載し対応した。

来校での参加者	169 名	リモートでの参加	40 名
電話対応	10 名		

(3) その他の報告

(校務報告)

新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言により、学事予定を大幅に変更した。※休日等に授業を振替え、実施した。

令和 2 年	4 月	入学式(中止)
		学生健康診断
	6 月	前期授業開始 (AT 専攻科含む)
		AT 専攻科開講式
		3 年生実力試験 (鍼灸校・柔整校)
	9 月	定期試験①
		実力試験①
	10 月	鍼灸認定実技審査
		後期授業開始
	11 月	(公社) 東洋療法学校協会 統一模試
柔道整復研修試験財団認定実技審査		
定期試験② (鍼灸校 3 年生)		
12 月	定期試験② (柔整校 3 年生)	
	特別試験 (鍼灸校・柔整校 3 年生)	
令和 3 年	1 月	実力試験②
		解剖見学
	2 月	定期試験② (1, 2 年)
		国家試験 (あ・マ指師・はり師・きゅう師)
	3 月	国家試験 (柔道整復師)
		令和 2 年度卒業式 ※謝恩会中止
		A T 専攻科修了式
		国家試験合格発表

### 3. 法人本部

#### (組織規程を中心とした諸規程の策定・改定)

① 育児・介護休業規程

令和3年1月1日に育児・介護休業法施行規則の改正に伴い、育児や介護を行う労働者が、子の看護休暇や介護休暇を時間単位で取得することが可能となったことに伴い、改定を行った。

② 決裁権限規程

人事異動並びに体制等に伴い、本規程における決裁権限者ならびに施行者が異なっている内容について改定を行った。

③ 大学院収容定員変更届

大学院博士前期課程（保健医療学研究科）及び修士課程（看護学研究科）の入学定員をそれぞれ5名から7名及び5名から3名とする収容定員に係る学則変更の届出を令和2年6月に行い、令和3年4月1日からの学則変更は受理された。

④ 東京有明医療大学履修規則の一部改正

保健医療学部柔道整復学科における履修規則に定める「進級できない場合の取扱い」及び「学年末再試験の取扱い」について各々の判定科目条件を改正、厳格化した。

⑤ 東京有明医療大学学則の改定

保健師助産師看護師学校養成所指定規則の一部改正する省令が交付され、令和3年4月1日施行の改正内容を反映し、看護学部の教育課程全体を見直し改定を行った。

⑥ 東京有明医療大学再入学に関する履修規則の制定

東京有明医療大学学則並びに大学院学則の再入学の取扱いに関し、必要な事項を定め令和3年4月1日より施行する。

#### (経営及び維持管理体制の強化)

令和2年度、東京有明医療大学の保健医療学部2学科、看護学部看護学科で入学定員充足を果たしたが、日本柔道整復専門学校の昼夜間部に加え、日本鍼灸理療専門学校についても昼間部本科を除き、定員未達となっている。

学生生徒納付金が本学の資源であることより、学生確保を図ることを重点目標とすることに加え、全体の収支に特段の配慮が必要であるが、教育機関として教育・研究環境の充実は必須であり、人件費並びに管理経費との比率も考慮し、学園全体として黒字となるよう一部支出予算の抑制を図り、予算管理を行った。

#### (監事・独立監査人・内部監査部門の連携)

昨年（令和2年）7月に、これまで学校法人花田学園において実施してきた監事による監査及び独立監査人の監査に加え、内部監査機能の更なる強化を目的に、内部監査室に専任職員を配置した。令和2年度は、「通常会計監査（定期監査）」を6回（渋谷3回、有明3回）及び「公的研究費に係る会計監査（定期監査）」を1回実施した。

### (中期計画の骨子作成)

「中期経営計画方針(案)」については、東京有明医療大学の中期計画を軸に、専門学校の課題を加え、財務面では、経年の財務分析による実態分析に基づき、①人件費比率の低下目標、②教育研究経費の確保、③特定資産の確保、④外部負債に依存しない健全な資産を維持することを中期経営計画の骨子とした。

### (主な施設等の状況)

区分	土地		建物		備考
江東区有明	大学校地	9,000 m <sup>2</sup>	有明校舎	15,482.33 m <sup>2</sup>	
渋谷区桜丘	専門学校校地	509.04 m <sup>2</sup>	渋谷校舎	3,295.16 m <sup>2</sup>	
渋谷区桜丘	メディカルビル	187.24 m <sup>2</sup>	メディカルビル	805.50 m <sup>2</sup>	

## III. 入学試験に関すること

令和3年度入学生（令和2年度入試実施）

（東京有明医療大学）

【保健医療学部】 入学定員 鍼灸学科 60名 柔道整復学科 60名

【看護学部】 入学定員 看護学科 50名 （定員倍率＝志願者数/定員）

		志願者数	合格者数	定員倍率	入学者数	学歴別		平均年齢(歳)	過去の志願者数(年度)		
						現役	既卒		平成30年	令和元年	令和2年
保健医療学部	鍼灸学科	52	46	0.87	42	36	6	19.17	56	67	67
	柔道整復学科	66	64	1.10	58	56	2	18.02	68	67	105
	合計	118	110	0.98	100	92	8	18.50	124	134	172
看護学部	看護学科	236	100	4.72	61	56	5	18.95	252	251	291
	合計	236	100	4.72	61	56	5	18.95	252	251	291
総数		354	210	2.08	161	148	13	18.67	376	385	463

【大学院 保健医療学研究科】 入学定員 博士前期課程 7名(令和2年度生以前5名)  
博士後期課程 2名

【大学院 看護学研究科】 入学定員 修士課程 3名(令和2年度生以前5名)

		志願者数	合格者数	定員倍率	入学者数	職歴		平均年齢(歳)	過去の志願者数(年度)		
						有	無		平成30年	令和元年	令和2年
保健医療学研究科	博士前期課程	7	7	1.00	7	1	6	26.71	4	6	4
	博士後期課程	4	4	2.00	4	3	1	25.25	2	1	2
看護学研究科	修士課程	0	0	0.00	0	0	0	0.00	3	0	2
総数		11	11	0.92	11	4	7	26.18	9	7	8

令和3年度入学生（令和2年度入試実施）

（日本鍼灸理療専門学校・日本柔道整復専門学校）

【日本鍼灸理療専門学校】入学定員 本科(昼夜とも)各60名 専科(昼夜とも)30名

【日本柔道整復専門学校】入学定員 柔道整復科(昼夜とも)60名

		志願者数	合格者数	定員倍率	入学者数	学歴別		平均年齢(歳)	過去の志願者数(年度)		
						大卒	高卒		平成30年	令和元年	令和2年
本科	第1部	83	62	1.38	60	28	20	25.0	111	83	115
	第2部	62	41	1.03	40	22	10	31.3	78	54	73
	計	145	103	1.21	100	50	30	27.5	189	137	188
専科	第1部	22	17	0.73	16	10	2	29.4	40	43	48
	第2部	17	14	0.57	14	8	0	29.2	16	31	27
	計	39	31	0.65	30	18	2	29.3	56	74	75
鍼灸合計		184	134	1.02	130	68	32	27.9	245	211	263
柔整科	第1部	24	23	0.40	21	2	19	19.3	28	26	44
	第2部	3	3	0.05	2	2	0	31.0	5	6	10
柔整合計		27	26	0.23	23	4	19	20.3	33	32	54
2校合計		211	160	0.70	153	72	51	26.8	278	243	317

#### IV. 国家試験に関すること

令和2年度実施の国家試験の合格状況は以下のとおり（国家試験新卒合格率の過去3年間推移）

（試験日）

- 保健師 …令和3年2月12日（金） ●看護師 …令和3年2月14日（日）
- はり師・きゅう師 …令和3年2月27日（土）
- あん摩指圧マッサージ師 …令和3年2月28日（日）
- 柔道整復師 …令和3年3月7日（日）

（東京有明医療大学）

	学科名	国家試験	新卒合格率	全国平均新卒合格率
平成30年度	鍼灸学科	はり師	94.1%	93.1%
		きゅう師	97.0%	94.2%
	柔道整復学科	柔道整復師	62.2%	86.1%
		看護学科	看護師	95.9%
令和元年度	鍼灸学科	はり師	95.0%	89.3%
		きゅう師	95.0%	88.9%
	柔道整復学科	柔道整復師	72.4%	84.8%
		看護学科	看護師	100.0%
令和2年度	鍼灸学科	はり師	79.3%	87.8%
		きゅう師	79.3%	89.1%
	柔道整復学科	柔道整復師	84.4%	85.6%
		看護学科	看護師	98.3%
		保健師	100.0%	97.4%

(日本鍼灸理療専門学校・日本柔道整復専門学校)

	学科名	国家試験	新卒合格率	全国平均 新卒合格率
平成 30 年度	本 科	はり師	91.2%	93.1%
		きゅう師	91.9%	94.2%
		あん摩マッサージ指圧師	98.2%	95.8%
	専 科	はり師	91.2%	93.1%
		きゅう師	91.9%	94.2%
柔道整復学科	柔道整復師	67.4%	86.1%	
令和元年度	本 科	はり師	92.9%	89.3%
		きゅう師	91.0%	88.9%
		あん摩マッサージ指圧師	97.5%	93.9%
	専 科	はり師	92.9%	89.3%
		きゅう師	91.0%	88.9%
柔道整復科	柔道整復師	90.9%	84.8%	
令和 2 年度	本 科	はり師	81.1%	87.8%
		きゅう師	81.8%	89.1%
		あん摩マッサージ指圧師	96.2%	94.0%
	専 科	はり師	81.1%	87.8%
		きゅう師	81.8%	89.1%
	柔道整復学科	柔道整復師	91.3%	85.6%

## V. 財務の概要

### (決算の概要)

#### ・貸借対照表の状況

資産の部合計約 146 億 2,500 万円と昨年度より約 1 億 500 万円減少、負債の部合計約 5 億 7,300 万円と昨年度より約 1 億 3800 万円減少、基本金組入を行った後の繰越収支差額は△約 7 億 8,300 万円と約 710 万円減少した。

主な要因として、資産の減少は現金預金や特定資産の増加に対し有価証券の償還や減価償却による減少であり、負債の減少は退職給与引当金の増加に対し入学金他前受金の減少によるものである。

#### ・収支計算書の状況

全体として、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、遠隔授業の実施や外部実習の未実施等により経費が減少、また収入では、附属医療収入(クリニック・附属実習施設等)が減少した。資金収支では、東京有明医療大学の学生生徒納付金、高等教育の修学支援新制度による補助金の増加、新型コロナウイルス感染症の影響による各経費の減少となり資金超過の結果となった。また、事業活動収支でも同様に、基本金組入前当年度収支差額は、当初予算約△1,800 万円に比べ約 3,300 万円のプラスとなり約 5,100 万円改善され今年度購入した機器備品等による基本金組入額△約 4,100 万円、機器備品の除却等より基本金取崩を加え、当年度収支差額は△約 800 万円、前年度繰越収支差額に加算し、翌年度繰越収支差額は△約 7 億 9,000 万円の結果となった。

・経年比較(直近3年間)

1) 貸借対照表

(単位:千円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
固定資産	12,506,761	12,033,640	11,805,682
流動資産	2,397,756	2,697,226	2,819,940
資産の部合計	14,904,518	14,730,866	14,625,622
固定負債	89,077	110,298	121,036
流動負債	501,334	601,092	451,908
負債の部合計	590,410	711,391	572,945
基本金の部合計	14,764,414	14,802,482	14,842,808
繰越収支差額	△450,306	△783,006	△790,131
負債及び純資産の部合計	14,904,518	14,730,866	14,625,622

2) 資金収支計算書

(単位:千円)

収入の部	平成30年度	令和元年度	令和2年度
学生生徒納付金収入	1,941,065	1,906,120	1,980,367
手数料収入	24,873	29,473	22,050
寄付金収入	1,310	3,260	1,940
補助金収入	81,235	84,052	132,044
資産売却収入	375,136	434,673	299,525
付随事業・収益事業収入	58,115	62,806	51,566
受取利息・配当金収入	22,143	30,492	26,345
雑収入	47,405	99,837	26,142
前受金収入	423,337	484,416	388,312
その他の収入	69,584	34,757	87,802
資金収入調整勘定	△458,198	△497,599	△510,196
前年度繰越支払資金	2,353,712	2,355,376	2,608,402
収入の部合計	4,939,717	5,027,665	5,109,799
支出の部	平成30年度	令和元年度	令和2年度
人件費支出	1,527,320	1,597,903	1,521,764
教育研究経費支出	302,038	315,377	313,120
管理経費支出	127,227	133,147	116,002
施設関係支出	4,196	26,116	6,212
設備関係支出	41,571	15,737	44,574
資産運用支出	552,083	360,602	274,392
その他の支出	93,858	77,008	112,827
資金支出調整勘定	△63,952	△106,698	△59,596
次年度繰越支払資金	2,355,376	2,608,402	2,780,505
支出の部合計	4,939,717	5,027,665	5,109,799

3) 事業活動収支計算書

(単位:千円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
教育活動収入	2,157,468	2,199,181	2,208,835
教育活動支出	2,260,334	2,339,503	2,221,363
教育活動収支差額	△102,877	△140,322	△12,528
教育活動外収入	22,143	30,492	29,241
教育活動外支出	0	0	300
教育活動外収支差額	22,143	30,492	28,941
経常収支差額	△80,734	△109,830	16,413
特別収入	922	43,778	18,433
特別支出	33,250	228,580	1,644

	平成 30 年度	令和元年度	令和2年度
特別収支差額	△25,408	△184,802	16,789
予備費	0	0	0
基本金組入前当年度収支差額	△106,142	△294,632	33,202
基本金組入額合計	△29,262	△38,068	△41,427
当年度収支差額	△135,403	△332,700	△8,224
前年度繰越収支差額	△314,903	△450,306	△783,006
翌年度繰越収支差額	△450,306	△783,006	△790,131

#### 4) 主な財務比率比較

	算 式	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	89.06%	85.49%	88.5%
補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	3.71%	3.70%	5.48%
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	70.69%	73.33%	68.83%
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	26.16%	24.76%	24.49%
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	6.86%	6.84%	5.93%
基本金組入比率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	1.34%	1.67%	1.79%
純資産構成比率	$\frac{\text{純資産(※)}}{\text{総負債+純資産}}$	96.0%	95.2%	95.9%
固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	83.9%	81.7%	80.7%
流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	16.1%	18.3%	19.3%
前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	556.4%	538.5%	724.4%
固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債+純資産}}$	0.6%	0.7%	0.8%
流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債+純資産}}$	3.4%	4.1%	3.1%

※純資産＝基本金＋繰越収支差額

#### (金融資産の運用・管理)

- ① 花田学園資産運用規程に従い、運用財産合計に対する運用有価証券の残高を定期的に管理し、令和3年3月末の運用財産合計3,610百万円に対し運用有価証券合計は830百万円で、運用規程の運用割合45%以下に対し23%であり規程の範囲内である。
- ② 令和3年3月末の運用有価証券全体の時価評価において、評価損益は含み益となり、個別銘柄において決算書注記への記載、簿価の強制低価処理等の対応に該当するものはなかった。
- ③ 令和2年度の受取利息収入合計は26.3百万円となった。
- ④ 引き続き運用規程を遵守して運用資産残高管理を行い、低リスク資産（定期預金等）を一定額確保した上で、金融経済市場の情勢に注視しながら、リスクとリターンバランスに留意し、運用商品の特性に応じたポートフォリオの見直しを行い、資産の成長を図る。

-保有運用有価証券内訳-

種 類	貸借対照表計上額	構成比
債 券(仕組債)	298,458,783 円	36.0%
株 式	255,011,070 円	30.7%
投資信託	276,729,236 円	33.3%
合 計	830,199,089 円	100.0%

**(関連当事者との取引)**

例年、本件に関しては役員に調査を行い、今年度に関しても関連当事者の取引がないことを確認しました。

**VI. その他**

1. 初年度学納金の推移 ※過去3年間の推移

(東京有明医療大学)

(単位：円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
授業料	鍼灸学科	1,200,000	1,200,000	1,200,000	
	柔道整復学科	1,200,000	1,200,000	1,200,000	
	看護学科	1,100,000	1,100,000	1,100,000	
実習費	鍼灸学科	325,000	325,000	325,000	
	柔道整復学科	325,000	325,000	325,000	
	看護学科	300,000	300,000	300,000	
施設設備費	鍼灸学科	350,000	350,000	350,000	
	柔道整復学科	350,000	350,000	350,000	
	看護学科	350,000	350,000	350,000	
入学金	鍼灸学科	300,000	300,000	300,000	
	柔道整復学科	300,000	300,000	300,000	
	看護学科	300,000	300,000	300,000	
合計	鍼灸学科	2,175,000	2,175,000	2,175,000	
	柔道整復学科	2,175,000	2,175,000	2,175,000	
	看護学科	2,050,000	2,050,000	2,050,000	
入学検定料		35,000	35,000	35,000	

(日本鍼灸理療専門学校・日本柔道整復専門学校)

(単位：円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考	
授業料	本科	1,100,000	1,100,000	1,100,000		
	専科	900,000	900,000	900,000		
	柔道整復科	1,040,000	1,040,000	1,040,000		
施設費	本科	130,000	130,000	130,000		
	専科	130,000	130,000	130,000		
	柔道整復科	130,000	130,000	130,000		
入学金	本科	第1部	700,000	700,000	700,000	
		第2部				
	専科	第1部	600,000	600,000	600,000	
		第2部	400,000	400,000	400,000	
	柔道整復科	第1部	600,000	600,000	600,000	
		第2部	400,000	400,000	400,000	
合計	本科	第1部	1,930,000	1,930,000	1,930,000	
		第2部				
	専科	第1部	1,630,000	1,630,000	1,630,000	
		第2部	1,430,000	1,430,000	1,430,000	
	柔道整復科	第1部	1,770,000	1,770,000	1,770,000	
		第2部	1,570,000	1,570,000	1,570,000	
入学検定料		30,000	30,000	30,000		

## 2. 表彰、奨学金・給付金等

### (東京有明医療大学)

#### ●成績優秀者及び経済的困難者への授業料減免制度

1 成績優秀者	学部・学科毎に学業成績最優秀者を決定し、3 学年までの各学科 1 名の計 9 名に対し授業料を減免	減免額 40 万円
	学部・学科毎に学業成績優秀者(2 位、3 位)を決定し、3 学年までの各学科 2 名の計 16 名に対し授業料を減免	減免額 2 位者 15 万円 3 位者 5 万円
2 一般入試成績優秀者	各学科入学生のうち 1 名ずつの計 3 名に対し授業料を減免	減免額 40 万円
3 経済的困難に対する授業料減免	9 名	減免額各 25 万円 合計 225 万円
4 経済的困難(家計急変)に対する授業料減免	1 名	減免額 40 万円

※他、優等賞・優秀賞・同窓会賞・特別賞・皆勤賞ならびに業界からの各表彰あり

#### ●日本学生支援機構の令和 2 年度採用の奨学金

	種 別	在学採用	臨時採用	予約採用	計
学部生	一種・二種	24 名	1 名	57 名	82 名
	給付	30 名	1 名	11 名	42 名
大学院生	一種・二種	4 名	0 名	0 名	4 名

#### ●高等教育の修学支援新制度（うち授業料減免分）

学部	学科	対象数	減免額
保健医療学部	鍼灸学科	13 名	7,427,000 円
	柔道整復学科	17 名	10,597,100 円
看護学部	看護学科	12 名	5,830,400 円
合 計		42 名	23,854,500 円

#### ●「学びの継続」のための学生支援緊急給付金（コロナ関連）

学部	学科	対象数	減免額
保健医療学部	鍼灸学科	29 名	3,100,000 円
	柔道整復学科	35 名	4,200,000 円
看護学部	看護学科	31 名	3,600,000 円
保健医療学研究科		5 名	500,000 円
合 計		100 名	11,400,000 円

### (日本鍼灸理療専門学校・日本柔道整復専門学校)

#### ●学内特待制度(成績優秀者への授業料減免制度)

成績優秀者	学科・部毎に成績最優秀者を決定 日本鍼灸理療専門学校 23 名 4,650,000 円 日本柔道整復専門学校 6 名 1,650,000 円	授業料の減免額 (本科・柔道整復科) 1 位 30 万・2 位 15 万・3 位 10 万 (専科) 1 位 25 万・2 位 15 万 ※各学年における定員カバー率によつて異なる
-------	--	---

上記の他、卒業式や学年終業時に、優等賞・優秀賞・同窓会賞・特別賞・皆勤賞ならびに業界からの各表彰あり

●日本学生支援機構の令和2年度採用の奨学金

	種別	定期採用	臨時採用	予約採用	計
日本鍼灸理療専門学校	一種・二種	30名	3名	12名	45名
	給付	4名	0名	12名	16名
日本柔道整復専門学校	一種・二種	5名	1名	12名	18名
	給付	2名	2名	5名	9名

●高等教育の修学支援新制度（うち授業料減免分）

	対象数	減免額
日本鍼灸理療専門学校	16名	7,407,100円
日本柔道整復専門学校	9名	3,876,800円
合計	25名	11,283,900円

●新型コロナウイルス感染症対策助成（経済的困窮者に対する教材購入費）

学 校	支援額（一人当たり）	対象数	減免額
日本鍼灸理療専門学校	35,000円	17名	595,000円
日本柔道整復専門学校	36,000円	11名	396,000円
合計		28名	991,000円

3. 会議等実施報告

（法人本部）

●理事会

	開催日	主な議題等	備考
第1回	令和2年 6/13 (土)	1. 令和元年度事業報告書（案）の承認について 2. 令和元年度収支決算報告書（案）の承認について 3. 中期計画の実施状況について -報告事項- ・大学院収容定員変更届出書類について ・専門学校の平成30年度学校関係者評価報告について	
第2回	10/22 (木)	1. 任期満了に伴う、職員からの評議員推薦について 2. 任期満了に伴う、卒業生からの評議員選任について 3. 任期満了に伴う、学識経験者からの評議員選任について 4. 任期満了に伴う、監事候補者選出について -報告事項- ・東京有明医療大学履修規則の一部改正について ・令和2年度 1契約1千万円を超える契約について ・客員教授の名称付与について ・内部監査室長の選任について 他	
第3回	10/22 (木)	1. 任期満了に伴う、学識経験者からの理事選任について 2. 任期満了に伴う、学校長兼務時の学識経験者からの理事選任について -報告事項- ・任期満了に伴う、監事選任報告について ・任期満了に伴う、評議員からの理事選任報告について	
第4回	令和3年 3/25 (木)	1. 人事について 2. 人事体制変更に伴う、職員からの評議員推薦について 3. 人事体制変更に伴う、卒業生からの評議員選任について 4. 人事体制変更に伴う、学識経験者からの評議員選任について	

	開催日	主な議題等	備考
第5回	3/25 (木)	1. 令和2年度補正予算(案)について 2. 令和3年度事業計画書(案)・中期計画(案)について 3. 令和3年度収支予算書(案)について 4. 東京有明医療大学学則の改定について 5. 学校法人花田学園決裁権限規程の改定について 6. 学校法人花田学園育児・介護休業規程の改定について 7. 令和2年度・3年度1契約1千万を超える契約について -報告事項- ・人事体制変更に伴う、評議員からの理事選任報告について ・東京有明医療大学再入学に関する規則の制定について ・令和3年度監事監査計画について ・令和元年度専門学校(鍼灸校・柔整校)学校関係者報告について ・資産運用状況報告について 他	

### ●評議員会

	開催日	主な議題等	備考
第1回	令和2年 6/13 (土)	1. 令和元年度事業報告書(案)の承認について 2. 令和元年度収支決算報告書(案)の承認について 3. 中期計画の実施状況について -報告事項- ・大学院収容定員変更届出書類について ・専門学校の平成30年度学校関係者評価報告について	
第2回	10/22 (木)	1. 任期満了に伴う、理事会推薦の職員からの評議員選任について 2. 任期満了に伴う、理事会選出監事の同意について 3. 任期満了に伴う、評議員からの理事選任について -報告事項- ・東京有明医療大学履修規則の一部改正について ・令和2年度1契約1千万円を超える契約について ・客員教授の名称付与について ・内部監査室長の選任について ・育児・介護休業法施行規則等の改正について ・任期満了に伴う、理事会からの評議員選任報告について	
第3回	令和3年 3/25 (木)	1. 令和2年度補正予算(案)について 2. 令和3年度事業計画書(案)・中期計画(案)について 3. 令和3年度収支予算書(案)について 4. 東京有明医療大学学則の改定について 5. 学校法人花田学園決裁権限規程の改定について 6. 学校法人花田学園育児・介護休業規程の改定について 7. 令和2年度・3年度1契約1千万を超える契約について 8. 人事について 9. 人事体制変更に伴う、理事会推薦の職員からの評議員選任について 10. 人事体制変更に伴う、評議員からの理事選任について -報告事項- ・人事体制変更に伴う、学識経験者からの評議員選任報告について ・人事体制変更に伴う、卒業生からの評議員選任報告について ・東京有明医療大学再入学に関する規則の制定について ・令和3年度監事監査計画について ・令和元年度専門学校(鍼灸校・柔整校)学校関係者報告について ・資産運用状況報告について 他	-

### (東京有明医療大学)

名称	開催頻度	審議内容等	R2年度開催数
大学協議会	毎月1回	学則その他学内諸規則の制定・改廃、教育・研究、教員人事の基準、学生の身分・厚生指導及びその他大学の運営に関する事項	12回
教授会 (保健・看護)	毎月1回	学生の入学、卒業又は課程の修了、学位の授与、その他学長が教授会に意見を聞くことが必要であると学長が別に定めた事項及びその他当該学部に関する重要事項	保 15 看 15
研究科委員会 (保健・看護)	必要の都度	学生の入学、卒業又は課程の修了、学位の授与、その他学長が委員会に意見を聞くことが必要であると学長が別に定めた事項及びその他当該研究科に関する重要事項	保 13 看 6
教務委員会	毎月1回	教育課程の編成、学生の単位取得、授業時間割の編成、学生の履修指導、定期・追・再試験、研究生、科目履修生等の教務に関する事項及びその他教務に関する事項	5

名 称	開催頻度	審 議 内 容 等	R2 年度 開催数
学生委員会	毎月1回	学生指導の基本方針、学生活動、学生生活、学生の表彰・懲戒及びその他学生に関する事項	8
紀要委員会	必要の都度	編集方針、原稿の採否、掲載の順位、部数及びその他紀要に関する事項	3
大学評価委員会	必要の都度	教育研究等の状況に係る自己点検・評価、教育内容等の改善のための組織的な研修、教育研究等の状況に係る公表及びその他評価等に関する事項	3
就職委員会	必要の都度	キャリア及び就職の支援並びに対策の基本方針・実施内容・情報収集及びその他委員長が必要と認めた事項	-
第一種奨学金返還免除候補者選考委員会	必要の都度	大学院第一種奨学金返還免除候補者の選考	-
図書運営委員会	必要の都度	図書館の運営の方針・企画、事業計画、調査及びその他図書館の運営に関する事項	4
保健管理センター運営委員会	必要の都度	センターの運営の方針・企画、事業計画、健康管理等の調査及びその他センターの運営に関する事項	2
情報センター運営委員会	必要の都度	センターの運営の方針・企画、事業計画、情報管理等の調査及びその他センターの運営に関する事項	-
国際交流センター運営委員会	必要の都度	センターの運営の方針・企画、事業計画、国際交流の調査及び委員長が必要と認めた事項	-
アドミッションセンター運営委員会	毎月1回	入学者選抜の基本方針、学生募集、試験問題作成・答案・採点、選抜の実施、選抜結果の分析、選抜の調査研究、学生確保に係る広報活動、その他センターの運営に関する事項	7
倫理審査委員会	年3回	「ヒトを対象とした研究」の研究の実施及び継続の適否の審査並びにその他委員会が必要と認めた事項	2
利益相反管理委員会	必要の都度	利益相反管理基準の制定及び改廃、利益相反による弊害の除去のため施策の策定、利益相反に関する審査・回避要請等、利益相反の管理のための調査、利益相反に関する学外対応及びその他利益相反に係る重要事項	2
ハラスメント防止対策委員会 大学分科会	必要の都度	ハラスメントの防止に係る実態調査・情報収集・啓発・研修の推進、再発防止に係る改善策の検討・実施及びその他ハラスメントに係る重要な事項	-
衛生委員会	毎月1回	職員の健康障害の防止及び健康の保持増進のための基本となるべき対策、労働災害の原因・再発防止対策	12
危機管理委員会	必要の都度	リスク情報の収集・分析、想定されるリスクの洗い出し・評価、リスクへの対応策の検討・立案・実施、危機管理マニュアルの作成・見直し、教職員・学生への教育・訓練の実施、危機対策本部に関する事項	1
防災対策委員会	必要の都度	防災に関する諸規則の制定・改廃、防災設備等の改善・強化、防災上の調査・企画、防災思想の普及・高揚及びその他防災対策に関する事項	-
FD委員会	必要の都度	FDの企画立案、FDの実施、FD活動の評価・結果分析及びフィードバック、FD活動の情報収集・提供、その他FDに関する事項	-
附属クリニック 運営委員会	必要の都度	クリニック、センターの運営の方針・企画及びその他クリニック・センターの業務改善に関する事項	2
附属鍼灸センター 運営委員会			2
附属接骨センター 運営委員会			-
IR委員会	必要の都度	学生の学修動向・教育の成果等に関する情報の収集・分析、学長よりの特命事項に関する情報の収集・分析、その他大学の諸活動に関する情報の収集及び分析	3
動物実験委員会	必要の都度	動物実験計画の指針等及び本規則の適合性、動物実験計画の実施状況及び結果、施設等の管理状況及び実験動物の飼養保管状況、動物実験及び実験動物の適正な取扱い並びに関係法令等に関する教育訓練の内容又は体制、自己点検・評価、動物実験等に関する情報の公開、その他実験動物等の適正な実施のための必要事項	1

(日本鍼灸理療専門学校・日本柔道整復専門学校)

専門学校2校合同における部長・主任会議を以下のとおり計27回実施した。

開催月	回数	開催日	議題等
令和2年4月	1回	3(金)	コロナ感染症対策、学事の変更検討等
5月	3回	15(金)・22(金)・29(金)	コロナ感染症対策、説明会開催の検討等
6月	3回	5(金)・12(金)・26(金)	高等教育無償化制度、コロナ対策等
7月	2回	10(金)・24(金)	リモート授業環境整備等
8月	2回	4(火)・21(金)	学内LAN工事、入学試験関連等
9月	2回	1(火)・15(火)	入学試験関連、学内行事の検討等
10月	3回	1(木)・13(火)・29(木)	入試報告等
11月	2回	12(木)・26(木)	次年度広報活動、入試報告等
12月	2回	10(木)・22(火)	コロナ対策、入試報告等
令和3年1月	2回	7(木)・21(木)	次年度学事予定検討、入試報告等
2月	2回	4(木)・18(木)	次年度学事予定検討、国家試験報告等
3月	3回	2(火)・16(火)・26(金)	国家試験報告、各式典の実施検討等